

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver
木津川上流浄化センター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei/v

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.2
Q1 室内環境				0.30			1.9
1 音環境			2.1	0.15		-	2.1
1.1 騒音			3.0	0.40		-	
1 室内騒音レベル			3.0	1.00		-	
1.2 遮音			1.8	0.40		-	
1 開口部遮音性能			1.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能			3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-	
1.3 吸音			1.0	0.20		-	
2 温熱環境			1.0	0.35		-	1.0
2.1 室温制御			1.0	0.71		-	
1 室温				-		-	
3 外皮性能			1.0	1.00		-	
4 ゾーン別制御性				-		-	
2.2 湿度制御			1.0	0.29		-	
2.3 空調方式				-		-	
3 光・視環境			2.7	0.25		-	2.7
3.1 昼光利用			3.0	0.30		-	
1 昼光率			3.0	0.60		-	
2 方位別開口				-		-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策			2.0	0.30		-	
2 昼光制御			2.0	1.00		-	
3.3 照度			3.0	0.15		-	
3.4 照明制御			3.0	0.25		-	
4 空気質環境			2.6	0.25		-	2.6
4.1 発生源対策			3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質			3.0	1.00		-	
4.2 換気			3.0	0.30		-	
1 換気量			3.0	0.33		-	
2 自然換気性能			3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33		-	
4.3 運用管理			1.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			1.0	1.00		-	
2 喫煙の制御				-		-	
Q2 サービス性能				0.30			3.0
1 機能性			2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				-		-	
1 広さ・収納性				-		-	
2 高度情報通信設備対応				-		-	
3 バリアフリー計画				-		-	
1.2 心理性・快適性			3.0	0.50		-	
1 広さ感・景観				-		-	
2 リフレッシュスペース				-		-	
3 内装計画			3.0	1.00		-	
1.3 維持管理			2.5	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.6	0.31		-	2.6
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-	
1 耐震性			3.0	1.00		-	
2 免震・制振性能				-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.7	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.27		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.27		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.18		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.27		-	

2.4 信頼性			1.8	0.19		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.8	0.29		-	3.8
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
1	階高のゆとり	梁下有効 4.1m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 153.41/2191.60=0.07	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38		-	
1	空調配管の更新性		-	-		-	
2	給排水管の更新性		-	-		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.17		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.17		-	
5	設備機器の更新性	機器更新のスペース確保、ホイスレールの設置	5.0	0.33		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.33		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1 建物の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29		-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	自然採光システムの採用	5.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			4.0	0.43		-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=76%	4.0			-	
集合住宅の評価						-	
4 効率的運用			3.0	0.29		-	3.0
4.1	モニタリング		-	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	1.00		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-		-	
3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.8
1 地球温暖化への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用なし。	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	